

# 長期使用車両の 灯火装置の点検について

長期使用過程(10年を超える)車両においては、結露等によりランプ内に水が侵入してショートし、最悪の場合発煙・発火に至ります。また、飛び石によるレンズ破損やバルブ交換時のソケットの閉め忘れ、ゴムパッキンの劣化や噛みこみ等によっても、水が侵入する可能性があるため定期的な点検をお願いします。劣化、破損等が認められた際には、交換をしてください。尚、レンズ部に著しい汚損等が確認されるものについては、特にご注意をお願いいたします。

## ■灯火装置の位置と名称



## ■レンズ部の曇りの状況



フロント方向指示灯の曇り

## ■ソケットの腐食状況とバルブの曇り状況



ソケットの腐食



バルブの曇り

## ■不具合事例



## ■ランプ類の日常(運行前)点検について

- ・運転席の各スイッチを作動させ、各ランプの点検、点滅状態を点検します。
- ・ブレーキペダルを踏み込んで、ストップランプが点灯するか確認します。
- ・ギヤを後退にしたとき、後退灯が点灯するか確認します。
- ・各ランプ類のレンズの汚れや損傷がないか点検します。
- ・点検で点灯や点滅しないときは球切れやヒューズ切れが考えられます。不具合部品を交換してください。
- ・不具合部品を交換しても点灯や点滅しないときは、お近くの三菱ふそうサービス工場でご点検をお受けください。

### 注意!

- ・バルブは必ず規定の物(電圧、ワット数)を使用してください。
- ・バルブの交換を行うときは必ずスタータースイッチを"LOCK"、各スイッチを"OFF"にしてから行ってください。

※車種・モデルにより点検方法が異なります。詳しくは各車両の取扱説明書を確認の上、忘れずに日常点検・交換を行ってください。(掲載している内容は中型トラックを例として掲載しています。)

点検・整備についてご不明点などございましたら、お近くの三菱ふそうサービス工場にお問い合わせください。